

ツバメのふんの観察

第6学年の指導内容「生物と環境」での活用を考える活動です。

双眼実体顕微鏡を使って、ツバメのふんの中にある昆虫の外骨格や羽を観察します。児童にとって見慣れた存在であるツバメのふんを観察することで、「食う・食われる」の関係をより身近な現象として理解させることができます。



材料と準備物

材料

- ツバメのふん
(衛生面を考慮して、割り箸やピンセットを使って採取し、ビニール袋に入れて保管します)

準備物

- 双眼実体顕微鏡
- シャーレ
- ピンセット
- 柄付き針(なければよい)
- ビニール袋
- 水



観察の方法

- ①シャーレに、ツバメのふんを一塊、採り入れます。
- ②少量の水を落として、ピンセットで柔らかくします。
- ③双眼実体顕微鏡にシャーレを乗せます。
- ④接眼レンズをのぞきながら、柄付き針でツバメのふんをほぐし、昆虫の外骨格や羽を探します。



この活動は、第6学年の指導内容「人の体のつくりと働き」の消化における学習にも有効な活動と考えます。活用の場面を工夫してみてください。

観察できる昆虫の外骨格や羽の一例

